

2 ぐんま水土里保全プラン2016の評価

県は、平成28年3月に『ぐんま水土里保全プラン2016』を策定し、農業農村の中長期的な将来を見据えた「水」、「土」、「里」の保全整備と、地域における「協働」を併せて推進し、農地や農業用水などの地域資源を将来へ引き継ぐことを目指して、各種施策を進めてきました。

そして、限られた予算を最大限に活用し、農業の生産基盤整備と地域づくりを着実に進めた結果、持続可能な「力強い農業」の実現と、地域の「協働による保全活動」を一層推進し、地域の活力を高めるとともに、「食料の安定的な供給」と「多面的機能を維持・発揮する農業農村」の実現に向け、一定の成果を得ることができました。

1 水土里の保全整備

1) 「水」の保全整備

- ・ 基幹農業水利施設の適切な保安全管理に向けて、機能保全計画に基づく21地区の保全対策を実施し、農業用水の安定供給を図ることができました。

2) 「土」の保全整備

- ・ 担い手への農地集積の促進と農業生産性を高める大区画化等の農業生産基盤整備を11地区、222.7haで実施し、効率的な営農を実現するとともに、農業の競争力強化を図ることができました。

3) 「里」の保全整備

- ・ 災害に強い農村づくりに向けて、対象となる全てのため池の耐震性能検証を実施しました。

2 協働

- ・ 地域の協働による地域資源の保全活動を支援し、担い手の負担軽減を図るとともに、656集落の地域コミュニティ機能の維持・向上を図ることができました。

ぐんま水土里保全プラン2016全体評価（一覧）

数値目標		基準年 (H26)	目標 (R 元)	実績 (R 元)	評価	達成率
「水」の保全整備	[重点] 基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数	12	32	22	C	68.8%
	保全対策により農業用水の安定供給が維持された農地面積(ha)	2,933	10,624	7,947	C	74.8%
	業務継続計画を策定した土地改良区数	1	11	12	A	109.1%
	土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数	—	48	48	A	100.0%
	畑地かんがい施設の整備面積(ha)	—	30	47	A	156.7%
	地下水位制御システム（地下かんがいシステム）の導入検討地区数	—	1	1	A	100.0%
	農業用水を活用した小水力発電施設の稼働数	—	4	4	A	100.0%
	河川協議に向けた支援を行う件数	—	10	12	A	120.0%
	8 項目	A または B 6 項目				75.0%
「土」の保全整備	農地中間管理事業との連携を推進した区画整理の計画地区数	—	全地区	全7地区	A	100.0%
	[重点] 区画整理による整備面積(ha)	—	320.0	222.7	C	69.6%
	農地中間管理事業との連携を推進した区画整理の実施地区数	—	全地区	全14地区	A	100.0%
	10a 区画水田の区画拡大をした面積(ha)	—	80.0	67.2	B	84.0%
	基幹的な農道の保全対策実施延長(km)	14.2	30.0	22.5	C	75.0%
	野生鳥獣被害防止対策を支援した市町村数	(17)	17	21	A	123.5%
	侵入防止柵の設置延長(km)	—	160.0	220.2	A	137.6%
	7 項目	A または B 5 項目				71.4%

ぐんま水土里保全プラン2016全体評価（一覧）（続き）

数値目標		基準年 (H26)	目標 (R 元)	実績 (R 元)	評価	達成率
「里」 の保全整備	[重点] 耐震性能を確認したため池数	45	99	104	A	105.1%
	ハザードマップの作成を支援したため池数	29	91	112	A	123.1%
	耐震性能を確認した農業水利施設（ため池を除く）数	—	131 (135)	131	A	100.0%
	老朽ため池等の改修数（耐震対策工事を含む）	—	8	8	A	100.0%
	地すべり防止施設の機能保全計画の策定地区数	—	6	9	A	150.0%
	石綿セメント管の撤去延長(km)	5.5	30.3	11.5	D	38.0%
	農業集落排水施設の最適整備構想策定市町村数	5	21	21	A	100.0%
	棚田保全活動事業による住民協定締結数	2	8	8	A	100.0%
	公設交流体験施設利用者数	327,737	353,000	366,278	A	103.8%
	9 項目	A または B 8 項目				88.9%
「協働」	[重点] 多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数	305	635	656	A	103.3%
	農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積(ha)	12,945	20,000	17,553	B	87.8%
	中山間地域等直接支払交付面積(ha)	1,587	1,647	1,430	B	86.8%
	地域構想づくり支援実施モデル地区数	1	8	8	A	100.0%
	県民への理解促進に向けた広報活動回数	—	40	40	A	100.0%
	5 項目	A または B 5 項目				100.0%
全体	29 項目	A または B 24 項目				82.8%

【評価基準】

本計画の全体評価については、計画期間中に毎年度実施してきた「中間点検」及び「年度評価」に準じて、下表の判定基準に基づき評価を行いました。

評価	評価基準 [中間点検時・評価時]	判定基準
A	計画どおり達成	100% ≤ 達成状況
B	達成ではないが順調に推移	80% ≤ 達成状況 < 100%
C	達成に向け努力が必要。必要に応じて見直しを検討	50% ≤ 達成状況 < 80%
D	達成に向け大きく努力が必要。必要に応じて抜本的に見直す	達成状況 < 50%
—	評価対象外	